



ネットであれこれ買いものの気分

あの、ものすごく暑かった夏がウソのように、すっかり秋が深まって涼しい日々がやって来ました。そうなるに羽織ものやセーター、ブーツなどといった、暖かい衣料品が恋しくなって来るもの。もちろん既にショップの側も、早いところでは8月ぐらいから秋物を並べて、我々消費者を待ち構えているようです。



かくいう私もすっかり“臨戦態勢”を整え、新しい秋冬物を物色しているところなのですが、ここ数年ネット通販も利用することが多くなりました。ネットの場合は実物を見たり試着したりすることができないものの、口コミや動画を参考にできたりするだけでなく、返品可能だったりポイントが貯められたりするので、時間があれば実店舗で商品を見てからネット注文してポイントをゲット……という技も使うことができるのが、気に入っています。

さらに、最近よく見ているのがBSやCSで放映されている通販番組です。24時間生放送で様々な商品案内を行うチャンネルが数局あり、内容によってはハテナ地上波番組を見るより面白いので、つい予定表などをチェックしてしまうこともあったりします…。

と、ここまで読んだ方は「一体、どれぐらい大量に買い物をしているのか!？」と思われるかもしれませんが、実はほとんどが「ウインドーショッピング」感覚で行っているため、結局購入しないことが圧倒的です。ファッションには昔から興味があるので、あれやこれやと見ているだけでも面白いんですね。

ちなみに、ウインドーショッピングは「仲間」がいれば、いろいろ批評なども

できてさらに楽しめるもの。TVやネットの商品についてアレコレ語り合うネット掲示板も、リアルタイムで見ているととても楽しいことに気づきました。例えば、美辞麗句を並べながら商品案内するTV番組に対し、その素材などを冷静に説明してくれる人もいれば、案内者の特徴をよく捉えたニックネームを考える人もいたりして、世の中には色々面白いことを考える人がいるのだな〜と、ついつい感心しながら夢中で読んでしまうのです。商品を前に見知らぬ人々が集まって、口々に情報交換をしているようなものですから、楽しくないわけがないですよ。

こんな風に、色々な角度からショッピングを楽しんでいる私は、もしかしたら「買い物依存症」の一種なのかもしれません。いや、そんなに買い漁っているわけではないですし、どちらかというとネットで語り合うのを楽しんでいるのですから「ネット依存症」？ いやいや、四六時中やっているわけでもないのでもっとも違う気がします。しかし明らかに他のことよりもものめり込みつつあるので、この状況が本当の買い漁りにつながらないよう、楽しむ一方で気をつけなければ…と、思っています。

…なんだかこれって、パチンコにも通じることですけどね。

じんぼう・みか

法政大学卒業後、文具メーカー勤務を経て業界誌記者となり、1993年独立。取材記事、コラムなど連載。近著「パチンコ年代記」(バジリコ、07年)